

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策Ⅲ-1-2 発達段階に応じた教育の振興
---------	--------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	社会教育課 前田秀典	電話番号	0852-22-5910
----------	------------	------	--------------

事務事業の名称	しまねのふるまい推進プロジェクト事業		
目的	(1) 対象	①公民館 ②市町村（小学校区等の地域）	
	(2) 意図	親世代や親子でのふるまいに関する取組を推進する公民館等に助成することにより、地域におけるふるまい推進の気運醸成を図る。	
事業概要	親世代をはじめとする大人のふるまいの意識を高め、それらを地域全体に広げるために、公民館ふるまい推進事業を実施する公民館に対して支援を行う。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	ふるまい推進に関わる学習活動が実施される公民館数	目標値		30.0	30.0	30.0	30.0	箇所数
		取組目標値							
	式・定義	学習活動実施公民館数 30箇所	実績値	30.0	40.0				
			達成率	-	133.4	-	-	-	
2	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						
			達成率	-	-	-	-		-

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	1,320	1,000
うち一般財源 (千円)	1,320	1,000

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

県内40の公民館等において、延べ約5,700名を対象にふるまい推進に関わる取組が行われている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- 公民館等で行われる地域住民のふるまいの意識の向上につながる様々な活動を支援した。40公民館等において実施し、延べ約5,700人が参加した。
- その成果を冊子にして配布し、「ふるまい」の大切さを多くの県民に伝えることができた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」
公民館等が行っている取組の中に「ふるまい」の視点が明確でないものがあり、「ふるまい」の大切さが地域に広がっていない取組がある。

②困っている状況が発生している「原因」
事業を企画、実施する市町村の担当職員や公民館等の職員に事業の趣旨や目的等が十分に伝わっていない状況がある。

③原因を解消するための「課題」
市町村の担当職員や公民館等職員に事業の趣旨や目的等を伝える。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

事業の趣旨や目的等をしっかりと伝えることによって、市町村の担当者や公民館等職員に効果的な事業実施を働きかける。